

注意

火災が多発しています

夏の厳しい暑さが続いています。令和8年8月21日現在、管内では31件の火災が発生しています。このうち、建物火災が18件と、全体の約6割を占めています。

出火原因としては、リチウムイオン電池などの充電機や電気機器・配線など、身近なものから火災が発生しています。また、たき火や火入れなどによる火災も発生しています。

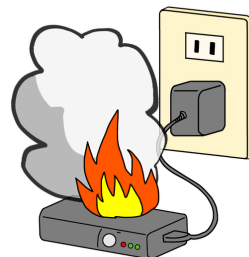
これから秋にかけては、田畑や枯草、せん定枝等の焼却処分などから火災に至るケースが多発しています。特に、降雨が少なく乾燥した日には、たき火などの火が枯草に燃え広がり、大きな火災につながるおそれがあります。なお、野外焼却は、例外を除き法律で禁止されていますので十分注意しましょう。

また、私たちの快適で便利な暮らしを支えるため、リチウムイオン電池をはじめ電気製品は欠かせないものとなっています。一方で、誤った仕様や不具合などにより、火災につながることもあります。

火災は、いつ、どこから発生するかわかりません。「自分は大丈夫」と油断せず、今一度、次のことに注意し、火災予防を心がけましょう。

① リチウムイオン電池からの火災に注意

スマートフォンやモバイルバッテリーなどに使用されているリチウムイオン電池は、強い衝撃や高温、誤った充電などにより発熱・発火し、火災につながる危険があります。膨張や変形、異常な発熱などが見られた場合は、使用や充電を直ちに中止してください。また、不要になった製品は絶対に一般ごみに混ぜず、ゴミの分別ルールに従って適切に処分してください。



② たき火・野焼き等からの火災に注意

乾燥して風の強い日は、火災が発生・拡大する危険性が非常に高いため、焼却や火気の使用は行わないでください。また、焼却やバーベキューなどで火を使用する際は、必ずその場で監視を続け、やむを得ずその場を離れる場合は、必ず一旦消火してください。火の粉の飛散や周囲への延焼を防ぐため、風向きや周囲の状況を十分に確認し、安全な環境で火を取り扱ってください。



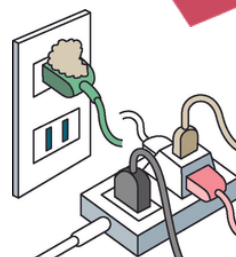
③ 火の元確認の徹底

外出前や就寝前には、電気器具の電源やガスコンロなどの火が確実に消えているか、必ず確認してください。わずかな消し忘れが火災につながるおそれがありますので、日頃から「火の元確認」の習慣づけをお願いします。



④ 電気配線やコンセントからの火災に注意

電気コードを束ねたまま使用したり、たこ足配線をしたりすると、発熱して火災につながるおそれがあるため、適切に使用し、傷んだ電気コードは使用しないでください。また、コンセントやプラグにほこりがたまると、発熱・発火するおそれがありますので、定期的に清掃し、異常がないか確認してください。



⑤ たばこからの火災に注意

たばこによる火災は、消したつもりで吸い殻や寝たばこなど、ちょっとした不注意から発生します。吸い殻は水に浸すなどして確実に消火し、灰皿にためないようにしてください。また、寝たばこは絶対にせず、たばこを吸う際は周囲に燃えやすいものがないか必ず確認してください。



お問合せ

嶺北消防本部予防課 TEL: 0776-51-8435 E-mail: yobou@reihoku-fd.jp